

(1) 町内会サミットワークショップの進め方

■今回のワークショップの目的

皆さん＝直面する町内課題に対応するために課題解決のアイデアを考え持ち帰る
(年齢や立場の異なるメンバー視点での課題感とアイデアを共有)
運営側＝アンケート・嶺北嶺南サミットで生まれたアイデアを県内外に伝える

■各ワークショップの狙いと内容

STEP1: 「町内会魅力UP」ワークショップ 【約30分】

論点: 町内会加入や活動参加をしたくなる魅力的な企画やアイデアは?
進行: 自己紹介+思いつきのアイデア出し ★質より量!

STEP2: 「町内課題解決」ワークショップ 【約30-40分】

論点: 災害救助・高齢者見守り・子育て等、近所だから助け合える課題と活動は?
進行: 生活課題+解決のアイデア出し ★世代毎のニーズと特技を生かして!

STEP3: 「町内会運営改善」ワークショップ 【約30-40分】

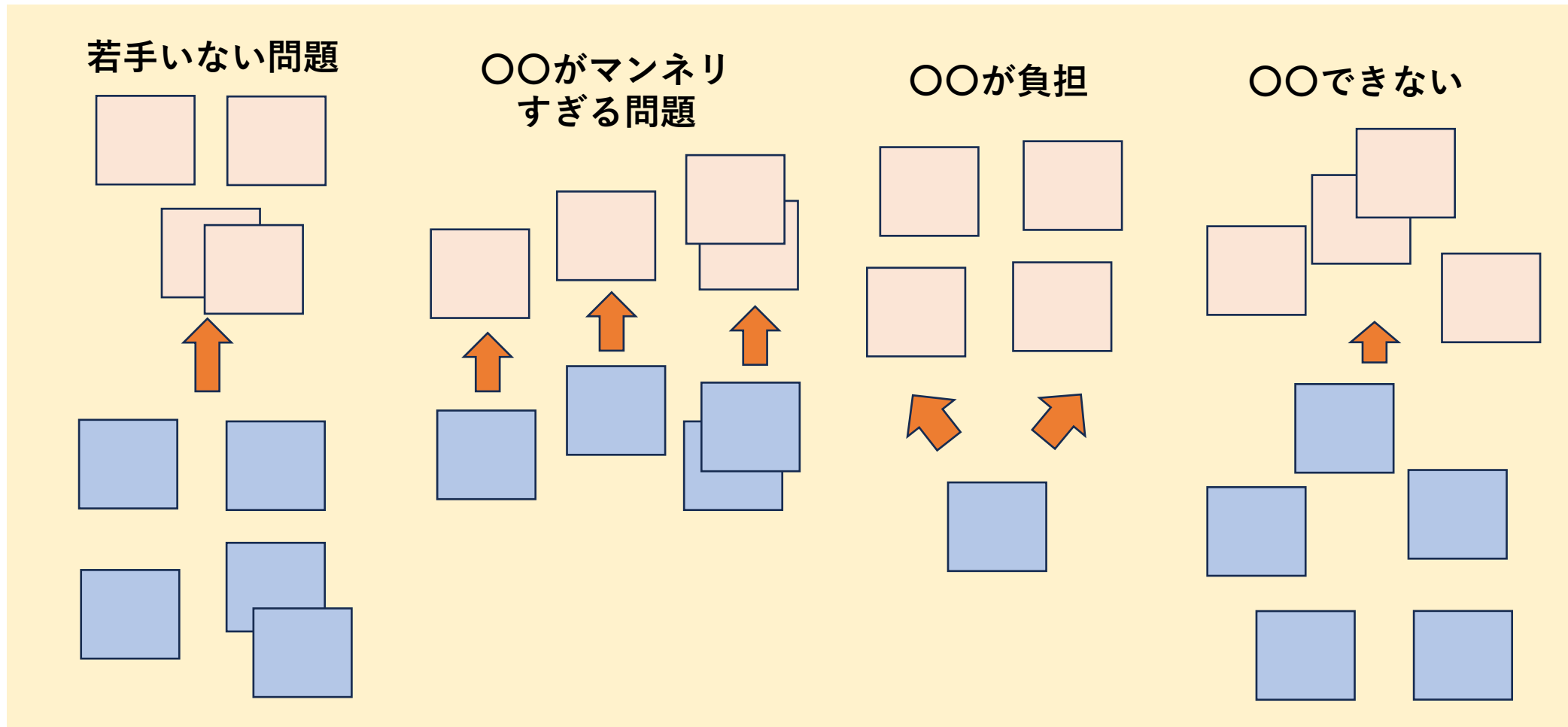
論点: 活動継続・次世代継承可能な町内運営の負担軽減・効率化のアイデアは?
進行: 運営課題+負担軽減・効率化のアイデア出し ★タイパ・コスパと効果両立!

STEP4: ディスカッション内容の発表・共有OR後日の冊子等の公表で共有

* 各STEPのワークショップで、課題・お困りごとを赤の付箋紙に記入
アイデア・やりたいことを青の付箋紙に記入 ★青を多めで!

(2) 各STEPのワークショップのまとめ方

- ①各STEPのワークショップで、**課題・お困りごと**を**赤の付箋紙**に記入
アイデア・やりたいことを**青の付箋紙**に記入
- ②付箋紙を**課題・アイデア**毎に模造紙に貼って内容紹介。
- ③似た**課題**と対応する**アイデア**を集める。カテゴリー毎に**アイデア**を追加する



(3) STEP1の課題とアイデアのヒント（アンケートと事例紹介より）

STEP1：「町内会魅力UP」ワークショップ【約30分】

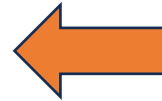
論点：町内会加入や活動参加をしたくなる魅力的な企画やアイデアは？

進行：自己紹介＋思いつきのアイデア出し ☆質より量！

■アンケートからの課題

【加入しない・脱会した理由】

- ・加入するメリットがわからない(28.7%)
- ・近所付き合いが面倒(23.4%)
- ・役員になりたくない(23.4%)
- ・忙しくて活動に参加できない(23.4%)
- ・特に理由がない(23.4%)
- ・加入方法がわからない(22.8%)
- ・町内会活動に関心がない(17.4%)
- ・会費が高い(15%)
- ・雰囲気閉鎖的(11.4%)



■アンケートからのアイデア

【町内会の行事や活動参加のきっかけ】

- ・町内会の人に誘われて(37.8%)
- ・チラシ・ポスターなどを見て(28%)
- ・知人に誘われて(15.9%)
- ・自分から探して(6.1%)
- ・町内会のホームページやSNSを見て(6.1%)

(4) STEP2の課題とアイデアのヒント (アンケートと事例紹介より)

STEP2: 「町内課題解決」ワークショップ 【約30-40分】

論点: 災害救助・高齢者見守り・子育て等、近所だから助け合える課題と活動は?

進行: 生活課題+解決のアイデア出し ☆世代毎のニーズと特技を生かして!

■アンケートからの課題

【具体的な困りごとの内容】

- ・ 10代: 子どもの行事が少ない/行事の片付け大変/新規が馴染めない
- ・ 20代: アパート・マンションで情報なし/会費高い・使徒不明確/ゴミ当番負担 (共働きでアミ回収無理)
- ・ 30代: 行事で休日潰れる/仕事や育児と役員兼務が多忙/若手減少で役回りが高頻度/長い会議で電子化希望
- ・ 40代: 町内会新年会搾取/凝り固まった高齢者改善提案進まない/街灯暗い/活動委託したい/大雪除雪の連絡網
- ・ 50代: 団体多すぎ/不参加罰金/子供の通学路危険/災害時の避難路確保・備蓄/独居老人役しない/空家耕作放棄地
- ・ 60代: 高齢化/長老重鎮意見強い旧態然/若者軽視/区費基準違い/外国人ゴミ出しルール/役員対象減少
- ・ 70/80代: 緊急時連絡先共有困難/高齢で社会奉仕辛い/将来町内会維持困難/水没後処理/空き家管理

■アンケートからのアイデア

【町内活動として共感できること】

- ・ 近くに顔見知りがいることによる安心感 (62.4%)
- ・ 行事などにより交流が広がる (54.6%)
- ・ 地域の情報が手に入る (54.3%)
- ・ 防災時など、いざという時に安心 (51%)
- ・ 防災・防犯活動により安心して暮らせる (50.3%)
- ・ 生活上困ったことがあった場合に相談できる (25.2)

■アンケートからのアイデア

【町内会で暮らしが良くなった、町内の課題を解決した事例等】

男性	10代	電線にカラスが止まっており歩道の妨げとなるので対応をして欲しい 能登の地震から、身近な地震を初めて体験しもし福井で地震が起こった場合災害が最小限になるよう避難訓練など入れても良いかと
女性	10代	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りで子供も参加できて、楽しい！ ・たいこがあってお祭り感がある！ ・公園がきれいで使いやすい！ ・学校との交流が増える！
女性	10代	イベントに参加したり、祭りに参加することで高齢者との関わりが増えたこと。 親が大きな団地区分の班長になったことで、回覧板の用紙を配りに行ったり、他の団地の高齢者や班長と話す機会が増えて生活で挨拶をすることが増えた。町内を歩く時が楽しくなった。
男性	10代	災害時の安否確認でLINEを使用した。
男性	10代	町内の情報をLINEできょうゆうできるようになった
女性	10代	子供が参加できる行事がたくさんある
女性	10代	町内の子供たちと親でボーリングに行き、交流を深める。
女性	10代	親つながりで、子ども同士のつながり（友達）が増えた お食事会より旅行のほうが話す機会とか接点作りやすい。ただご飯食べているだけよりアクションから共通点を見つけやすいから、今後のつながりも増える 町内の掃除は捨ててる本人たちが意識しないと変わらないから、常識のない者だけに何か策を講じたい

■アンケートからのアイデア

【町内会で暮らしが良くなった、町内の課題を解決した事例等】

女性	20代	公民館で行われる祭りを通して子供からお年寄りまで集まることで世代を超えたコミュニケーションの機会ができた
女性	20代	区長さんが班長さんに配る配布物を入れる防水のケースを設置したことによって雨の日での不安が減ったことです！
分から	20代	町内会の高齢化が課題となっています。奉仕作業には、豪華なお弁当をつけたりお菓子を多めにつけます。若い世代が参加するために、地域の特色を生かして蕎麦打ちや餅つきなど行っています。
女性	20代	老人会と子供会が餅つきをして、昔は当たり前だったことも最近はやらない家庭も多く、子供たちが目をキラキラさせながらつきたてのお餅を食べていたこと。老人会も孫と暮らしていない人たちは、小さい子と接する機会ができて、お互い楽しそうだったこと。
女性	20代	夏祭りに参加して普段交流のない年代の方と仲良くなれた。
男性	20代	年始の新年会で、話合いをすることで町内会の仲が深まった。
女性	20代	気軽にあいさつがでくる 長らく顔を見ないと気になり、スーパーで見かけるとホットする
女性	20代	ゴミ捨て場がビニールシートから、カゴに変わりました。雨の日にシートを触らなくていいのと、捨てる際前かがみにならなくても良いので、ゴミ捨てが楽になり、時短にもなっています。

■アンケートからのアイデア

【町内会で暮らしが良くなった、町内の課題を解決した事例等】

女性	20代	引っ越してすぐは知らない人ばかりでしたが、公園掃除や集会に行くにつれて近所の方と話すようになって子どもたちも可愛がってもらえています。
女性	20代	近所付き合いが広がった
女性	20代	子どものために横断歩道を作ったこと
女性	20代	一年に一回は町内でイベントを行う。例：BBQなど
女性	20代	町内の防災訓練で家族の防災意識が高まった
男性	20代	防災訓練が、皆積極的で実際の災害があった時のイメージができた。
男性	20代	知り合いが増え、何でも話し合える友人が出来た。
女性	20代	ご近所さんと話す機会が増えて安心して住みやすくなりました。 私の実家の町内会では春に集会場で子供達が盆踊りやダンスの練習をして夏前に町内をハッピーを着て踊りながら回っていました。 そのおかげで町内の人たちと毎年顔を合わせるし年上年下の友達もたくさんできて楽しかった記憶があります。 今は少子化で子供の人数が減っているし、若い家族が越してきても町内会に入らないところが増えてやっ ていないと親から聞いたので寂しい気持ちになってます。
女性	20代	落とし物などの連絡があるほどコンスタントに連絡がある
男性	20代	お祭りが年に1度あり、その時に地区毎に本陣飾りを作るといのが恒例なのですが、そういった地区ごとの対抗行事のようなものがあるといいのかなと。
分から	20代	町内のお祭りや行事がある事によって世代を問わず楽しめる、子供たちの笑顔が増えた。

■アンケートからのアイデア

【町内会で暮らしが良くなった、町内の課題を解決した事例等】

女性	30代	危ない側溝を蓋して閉じて、融雪の範囲が広がりました。また夏祭りではビンゴ大会で子供から大人まで盛り上がって楽しく過ごしました。
女性	30代	コロナ中の引越しかった為まだあまり町内行事がないですが、町内でのBBQ行事が夏にあり子供も親も町内の方との親睦が深まったと思います。
女性	30代	回覧板の内容を、Webで閲覧できるよう町に要望を出して、実現したこと。
男性	30代	LINEでの防災グループを作成して連絡を迅速に取り合えるようにしている
女性	30代	町内会の活動に参加して地区の人と話す機会をもてたことで、子供が生まれたときも可愛がってもらえました。
女性	30代	東京から移住してきたが、町内会に入会して町民の皆さんと交流が深まった。夫は釣りという趣味仲間もできた。
女性	30代	自主防災の避難訓練で非常食などを再確認できた。
女性	30代	納涼祭はとても楽しいし、子供も大人もみんなで楽しめる、みんなで協力して開催できる一大イベントでぜひおすすめしたい。コロナでなくなった町内が多いが復活させてほしい。
女性	30代	古い集落に新しく入ったので町内会に参加した事で顔を覚えてもらえて、災害などが起きたら助け合える
女性	30代	全く知らない土地に家を建て住み始めましたが、町内会に入ったおかげでいろいろ気にかけてもらえたり教えてもらっています。
女性	30代	地区大などみんなで交流出来る場があり顔見知りの人も増えるメリットがあります
女性	30代	他の地区から転入してきたため、周りに知り合いがおらず不安だったが、顔見知りが増えた。
女性	30代	引っ越してきたばかりの頃、町内会で挨拶をしたことにより、気にかけてもらえることが増え、なんでも聞ける仲になった。
女性	30代	子供会を通して地域の方々と交流できたこと
女性	30代	町内会の班長の係が回ってきた際に、町内会に入っていたおかげで顔見知りの地域の方と協力しながら行事や会議、回覧物の配布などに取り組むことが出来ました。
男性	30代	町内会の会議や草刈りなどのイベント時に、今までは、お茶+軽食や弁当が当然のように用意されていましたが、お茶のみとすることで、準備する手間も省け、町内会の支出も抑えることができます。今は働くことが当然の時代なので、簡略化できるところは簡略化して、次の世代に繋げることが重要だと思います。
女性	30代	防災訓練などで子供達が近所のお年寄りや仲良くなり、ご近所付き合いが良くなった。

(5) STEP3の課題とアイデアのヒント (アンケートと事例紹介より)

STEP3: 「町内会運営改善」ワークショップ 【約30-40分】

論点: 活動継続・次世代継承可能な町内運営の負担軽減・効率化のアイデアは?

進行: 運営課題 + 負担軽減・効率化のアイデア出し ☆タイプ・コスパと効果両立!

■ アンケートからの課題

【町内活動で負担に感じていること】

- ・ 役員業務の負担 (55%)
- ・ 各種行事への参加 (28.3%)
- ・ 会費が高い (26.8%)
- ・ 特に負担は感じない (23.7%)
- ・ ゴミステーションの当番 (19.2%)
- ・ 回覧の受け渡し (18.1%)
- ・ 清掃美化活動 (15.1%)

【町内会役員業務で負担が大きいと感じるもの】

- ・ 各種行事の運営 (54.5%)
- ・ 各種募金など、集金お金の管理 (47.4%)
- ・ 回覧・配布物の仕分け (41.2%)
- ・ 地域の苦情や要望への対応 (28.4%)
- ・ 防災訓練や見守り活動などの運営 (17.9%)
- ・ 清掃美化活動の運営 (16.4%)
- ・ ゴミステーションの管理 (15.9%)

■ アンケートからの課題

【町内活動を継続していく上での課題】

- ・ 役員の担い手不足 (69.1%) ・ 役員の高齢化 (66.3%)
- ・ 役員の負担増 (52.4%) ・ 参加者の固定化 (46.1%)
- ・ 活動の参加者が少ない (35.7%) ・ 住民の無関心 (32.8%)
- ・ 活動内容の慣例化 (30.4%) ・ 未加入世帯の増加 (19.8%)
- ・ 予算の不足 (7.8%)

■ アンケートからのアイデア

【町内会の活性化に必要と思うもの】

- ・ 若い世代の参画 (55%)
- ・ 担い手となる人材の確保 (54.2%)
- ・ 地域住民の意識啓発 (31.6%)
- ・ 子ども・若者向けイベントの実施 (28.7%)
- ・ 加入世帯の増加 (25.4%)
- ・ 他町内の活動情報の共有 (24.%)
- ・ SNSなどによる町内活動の発信 (22.6%)
- ・ 町内の合併や再編 (22.1%)
- ・ 女性の参画 (20.5%)

■アンケートからのアイデア

【町内会をよくするアイデア】

男性	10代	防災や防犯のための関係づくりを積極的に行って行くべき。町内の範囲が広すぎて把握が難しくなってしまうところもあるため、町内の範囲を小規模単位で分け、その中で災害時などに協力し合えるよう、にネットワークを積極的に用い、情報を共有し合えるような働きかけをする。
男性	10代	各地域(例 大道、上野、平吹など)との合同運動会を開催することで各地域が仲良くなり町内会も協力ができるかと 他にも子供と大人の触れ合いの場にもなりいい経験になり思い出になるかと
女性	10代	配布物をスムーズにデジタル化するために高齢者へ向けたインターネット講習会を実施する
女性	10代	町内の人全員が参加できるようなイベントを行い、町内会に関心を持ってもらうといいと思う。
女性	10代	イベントなどの役割を勝手にきめてしまうのではなくて、参加できる人は参加してくださいという、気軽に参加できる雰囲気を作る。 こども会と連携して、イベントを企画することで、親子でイベントに参加し町内会の印象がよくなると思う。 まず参加してもらえるように多くのところで広める。＝声かけ 若い世代にも届くように、メールなどを使って一斉送信。 →そうすることで、若い世代に取ったら、スマホを使う時間にするができる。欠席連絡もすぐ町内会が見ることができる。 パソコンやスマホでの若者の力で、ポスターやSNSの使用をして地域の活性化をする。
男性	10代	町内会ごとに共通の項目で競争をし、景品などが出るようにすることで参加者が町内への帰属意識を感じることに繋がると思う。
男性	10代	回覧板などをラインで行う
男性	10代	回覧板の内容をラインで共有などしてインターネットを活用する
女性	10代	世代別に集まって近況報告をする。
女性	10代	人手不足が少なくなる中、役員の人数を減らしたり、合体させる
女性	10代	集会できる場所の確保
女性	10代	高校生の立場から見ると、仕組みなどよく分からない部分も多いですが、町内会は地元のベテランの方が運営されていて、若い世代は参加しにくいという印象を強く受けます。そのため、町内会の運営側に若い方がいらっしゃると若者は親近感を感じて、地域の輪も広がると思います。例えば、町内会にユースリーダーのようなグループを作り、若者視点からのイベントの企画、町内会運営への参加などを行うと良いのではないかと思います。また、県や市ごとにそれらのグループが集まる機会をつくり、若者が地域づくりについて活発に意見交換出来るとより効果的だと思います。
女性	10代	植物を町内で育て、住民同士の会話や地球温暖化防止のきっかけになるようにする。
女性	10代	町内の学生に地域PRを委託しSNSなどを有効に活用する。
女性	10代	はじめから交流目的だと拒否られることが多いと思うから、スポーツやカフェ、アイスブレイクなどのゲームをとり入れる

■アンケートからのアイデア

【町内会をよくするアイデア】

女性	20代	町内会の連絡は回覧板ではなく、グループLINEで一斉送信する。 町内会の清掃やゴミ当番は当番制ではなく、謝礼をお渡し、お年寄りをお願いする。
女性	20代	町内会費は世帯人数で決定する。子供世帯に日用品や催事ごとのプレゼント（生活に役立つようにギフトカタログなど）の配給で満足度をあげる。 公民館などでキッチンカーや地元の販売店を呼んだイベントを開催し、現地で食べられるようなイスを用意して交流を促す。 オセロ大会など、世代を問わず競えるようなイベントを開催する。
女性	20代	町内の若い世代～高齢世代が交代で主催になって料理教室を開催し、町内の住民が料理教室に参加する
女性	20代	回覧板は携帯などの電子機器で管理していったほうが良い。子育て世代はほとんど、紙でのやり取りがなくなってきている。LINEなどで情報を流せば、まとめてみんなに情報周知が可能。意見などがある人はコメントなどで記載すれば、タイムリーにみんなが確認できる。
女性	20代	・清掃活動や行事の参加の有無を、紙面で回答して班長の自宅まで届け、班長が区長に届けるという方法よりも、LINEやwebで出欠をとれると効率的になると思う。 ・災害時などのやりとりをLINEグループで行っているが、あまり顔見知りでない人にLINEを教えるのは抵抗があるので、町内会専用のアプリなどを作成して欲しい。
男性	20代	若い世代の活躍できる場を設ける
女性	20代	みんなが意見を言い合える環境づくり
女性	20代	回覧板の数を減らしてLINEを使って情報をもらえると若者も参加しやすくなると思います。 また子連れでも会議に参加できるとありがたいです。
女性	20代	小さい子に向けての読み聞かせなどをボランティア出会う
女性	20代	子供に向けて読み聞かせなどをする
女性	20代	集まる機会の回数が少ないとなかなか顔を覚えられなかったり慣れないため、集まる機会の回数を増やして毎回の機会を短時間で終わるようにすると参加者も増えて、人との繋がりも増えるのではないかと。
女性	20代	若者世代が町内会に参加するということが減ってきている。青年部や女性部などあるが、それも平均年齢があがっているのではと思う。 役はしたくないが、地域の祭りや行事には参加はしたい若者が増えている。 それを踏まえ班長がまわす回覧板は手間を省くため回メールやLINE化 メールやLINEがないところは紙で送付する 会費を現金で徴収する それも班長や区長が貰いにまわるのが手間なので、振込にする 振込できない人(足が悪い人など)は集金や区長宅まで持って行くなどする 町内の年寄りだから偉いというしきたりを辞める 若者はそれで参加したくないと思う人もいると思う

自治会運営負担軽減の着眼点：池田町等の聞き取り調査で作成した負担軽減アイデア一覧（田中志敬作成）

余力を作る見直しポイント	具体的な工夫
<p><input type="checkbox"/>自治会加入世帯が減少している</p> <p><input type="checkbox"/>町内・学区・市で行っている活動が多すぎないか？</p> <p>→★「活動見直しと効率化の知恵」</p>	<p><input type="checkbox"/>年間の活動一覧を作り全体像を把握し、必要なものから優先順位をつける。 重複するものは共同開催。活動によっては外部委託・休止の判断をする。</p> <p><input type="checkbox"/>役員会等の会議の開催頻度を少なくする （町内・学区・町行事時に必要事項の周知をする、メール、ライン、FAXで議題共有・意見交換）</p> <p><input type="checkbox"/>回覧頻度の削減（月1・2回程度）</p> <p><input type="checkbox"/>一ヶ月分の情報を1枚に集約し、関心がある場合は町内・学区・町掲示板や公的機関HPを閲覧</p> <p><input type="checkbox"/>集合住宅・多数の戸建て団地等は、掲示板・階段前の掲示に止める</p>
<p><input type="checkbox"/>住民が自治会役員就任を避けている</p> <p><input type="checkbox"/>一部の役員・委員に分担が集中しすぎてないか？</p> <p><input type="checkbox"/>新たな担い手が入りづらくなっていないか？</p> <p>→★「役割分担の知恵」</p>	<p><input type="checkbox"/>担当別役員制の導入（「社会奉仕担当」「祭事・行事担当」「ゴミ・エコ担当」「会計・総務担当」）</p> <p><input type="checkbox"/>複数年任期制の導入（「前役（1年目）」「学区長（2年目）」「後役（3年目）」）</p> <p><input type="checkbox"/>数ヶ月交代制の導入（1～2か月ごとに班長・組長が役員を当番制で担う）</p> <p><input type="checkbox"/>小規模な班・組の再編制（5人1班・組を8人1班・組に再編）</p> <p><input type="checkbox"/>執行部と企画運営の分離（「執行部（学区長・学区長会）」「企画運営部（住民有志・青年会）」）</p> <p><input type="checkbox"/>女性・子孫・祖父母等の世帯主に限定しない参画・参加の機会作り（趣味サークル等の有志グループの公認）</p> <p><input type="checkbox"/>有償手当の導入（参加できないことが心の重しになる出不足・不参金の廃止）</p>
<p><input type="checkbox"/>独居高齢者、定年退職者が増加している</p> <p><input type="checkbox"/>数十年会費を見直していない</p> <p><input type="checkbox"/>年々余剰金が出ている</p> <p><input type="checkbox"/>一部の世帯に自治会費負担が偏っていないか？</p> <p><input type="checkbox"/>参加度合い・関与度合いに対して自治会費が高すぎないか？</p> <p>→★「お金の負担割合の知恵」</p>	<p><input type="checkbox"/>町内会費の減額</p> <p><input type="checkbox"/>余剰金の解消（一部を防災積立金化、残りを返却や町内会費減額）</p> <p><input type="checkbox"/>「見立て割」から「均等割り」の導入</p> <p><input type="checkbox"/>単身世帯（独居高齢者、若年未婚者）の自治会費の減免</p> <p><input type="checkbox"/>会費の減免者への行事参加費の個別徴収制（受益者負担）の導入</p> <p><input type="checkbox"/>転入者の町内・地域会の加入一時金の免除 （共有財産がある場合は別途財団法人を作り、自治運営と切り離す）</p>
<p><input type="checkbox"/>住民の高齢化、小規模自治会</p> <p><input type="checkbox"/>町内・学区だけで知恵が出ずに悩んでいないか？</p> <p><input type="checkbox"/>活動を維持管理するのが負担になっていないか？</p> <p><input type="checkbox"/>活動が非効率になっていないか？</p> <p>→★「地域連携の知恵」</p>	<p><input type="checkbox"/>町内・地域間の課題や取組みの知恵の情報交換（活動・行事の見学や工夫のアドバイス）</p> <p><input type="checkbox"/>活動に応じた町内・地域間連携（活動・行事の共同開催、体育祭の合同町内化）</p> <p><input type="checkbox"/>立地や規模によっては町内・地域の合併</p>
<p><input type="checkbox"/>若い人、転入者の活動参加が低いのか？</p> <p><input type="checkbox"/>運営ルールや活動内容が複雑で一部の人しか担えなくなっていないか？</p> <p><input type="checkbox"/>新規の加入者・担い手にもわかるようになっているか？</p> <p>→★「明文化・記録化の知恵」</p>	<p><input type="checkbox"/>自治会・校区・地域の規約・規則の明文化、会計（予算決算）の明朗化</p> <p><input type="checkbox"/>祭事・行事の記録化し、参考例や雛形（運営マニュアルや文章フォーマット等）の作成</p>

デジタル化による自治会運営の負担軽減の着眼点：



サービス概要 基本機能 災害モード 動作環境・価格 事例紹介

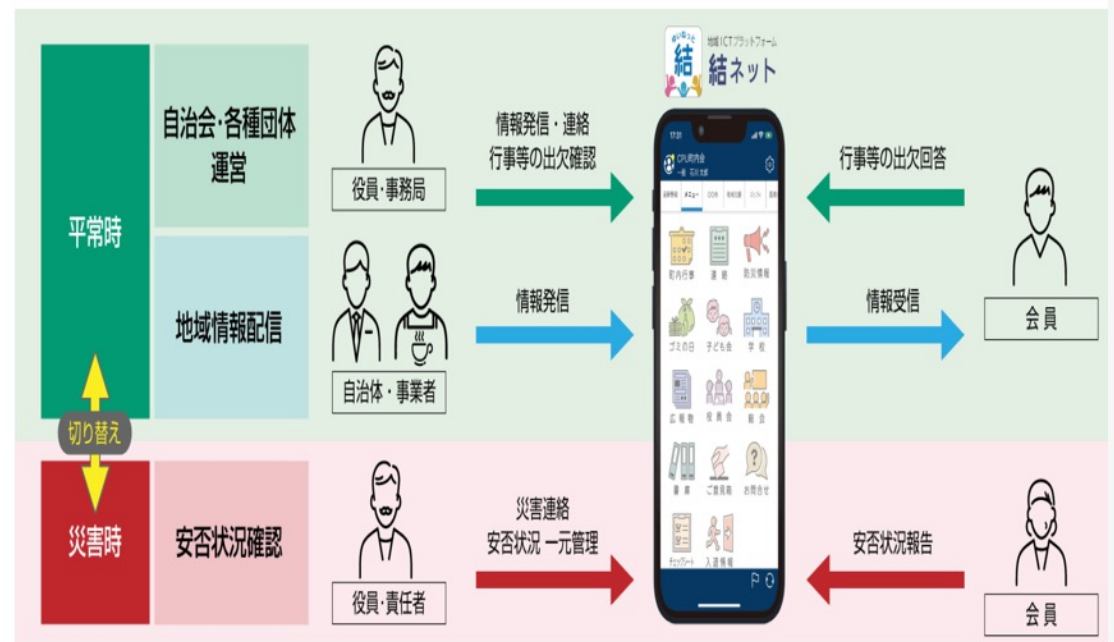


出典：<https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/>

地域ICTプラットフォームサービス「結ネット（ゆいねっと）」は、地域運営組織や各種団体において、平常時は地域の電子回覧板や自治体・事務局店舗からの情報発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるアプリです。

感染症対策や活動の担い手となる人材不足対策、活動資金の削減、地域住民の当事者意識の向上などの課題解決に繋げ、ICTによる地域の基盤づくりへと導きます。

「クラウド型町内会運営システム」、「地域事業者リアルタイム情報発信システム」、「災害時の安否確認システム」の3システムを統合したクラウド型ポータルサービスです。



プッシュ通知 リアルタイムに情報伝達



結ネットに記事が投稿されると、プッシュ通知でお知らせします。アプリを起動していなくてもお知らせを受け取ることができ、情報をリアルタイムに届けられます。

最新情報 見返しに適した一覧表示



「最新情報」タブには、受信した記事の履歴が表示されます。過去の記事が一覧で表示され、新しい順に並びます。チェックボード機能を備忘録として活用できます。

メニュー 目的からダイレクト確認



「メニュー」タブには、カテゴリがアイコンで表示されています。アイコンをタップすると、目的のカテゴリの記事が一覧で並びます。導入組織に応じたメニューを構築できます。